

平成 21 年度 当初予算総額

198 億 6600 万円

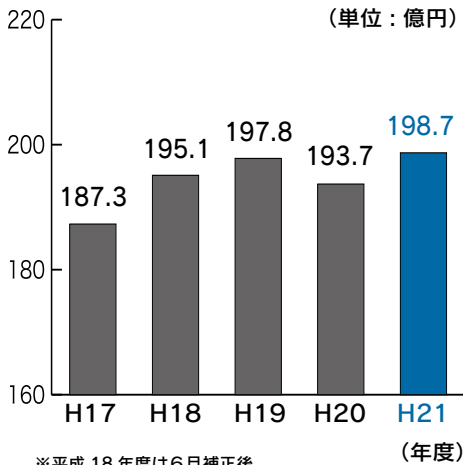
一般会計

世界的な経済危機の影響を受け、伊万里市の財政は、かつて経験したことがない深刻な状態に陥っています。

このため、平成21年度予算については、税収の減少などにより不足する財源を補うため、財政調整基金や各種基金の取り崩しなどにより緊急的に財源を確保し、工業用水道開発をはじめ新統合病院や国見中学校の建設など施設整備に重点的な投資を行いながら、限られた財源の中で、長年の懸案であった子ども医療費助成の拡大をはじめとする健康福祉分野や緊急雇用対策に配慮するなど、知恵を絞り工夫を凝らした予算の編成に努めました。

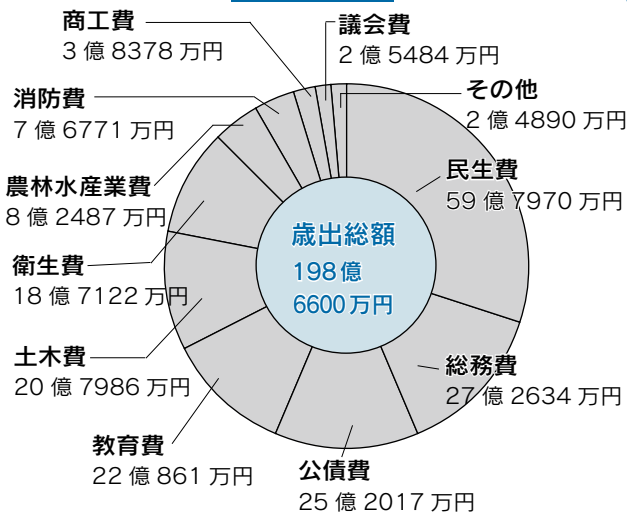
その結果、平成21年度の伊万里市一般会計当初予算は、総額で198億6600万円となりました。これは、平成20年度と比較すると、2.6%の増加となります。

一般会計予算額の年度別推移



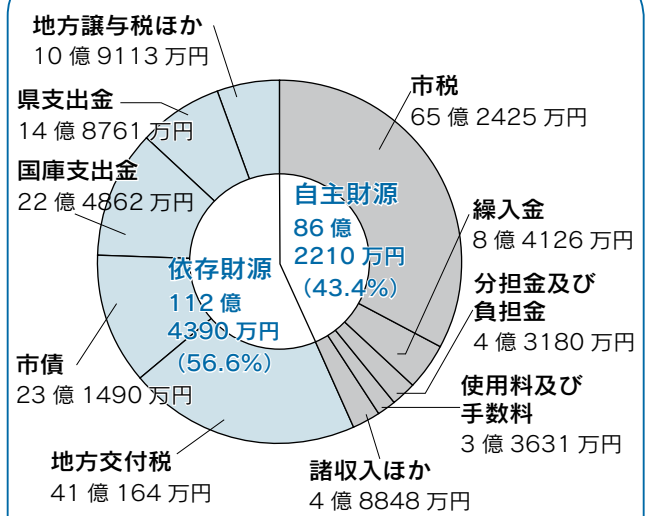
※平成18年度は6月補正後

歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 農林水産業費………農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

歳入



- 市税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です
- 分担金・負担金………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです

特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成21年度は、表1のとおり8つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、150億6287万円となっています。

国民健康保険特別会計
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	63億9,180万円
介護保険	50億1,677万円
立花台地開発事業	1,312万円
公共下水道事業	23億2,176万円
農業集落排水事業	1億2,575万円
市営駐車場	1,295万円
老人保健	570万円
後期高齢者医療	11億7,502万円

給付を行うための会計です

市営駐車場特別会計
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

老人保健特別会計
75歳以上の高齢者と、70歳以上で一定の障害がある人を対象に医療給付を行うための会計です

後期高齢者医療特別会計
『後期高齢者医療制度』の適用を受ける、75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から保険料を徴収し、徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域

介護保険特別会計
介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

立花台地開発事業特別会計
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

公共下水道事業特別会計
快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

市債現在高
市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

農業集落排水事業特別会計
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

市営駐車場特別会計
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

老人保健特別会計
75歳以上の高齢者と、70歳以上で一定の障害がある人を対象に医療給付を行うための会計です

後期高齢者医療特別会計
『後期高齢者医療制度』の適用を受ける、75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から保険料を徴収し、徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億4,931万円	8億7,429万円	11億8,464万円
	支出	13億4,931万円	8億7,429万円	11億8,464万円
資本的収支	収入	7億3,850万円	22億8,020万円	1億581万円
	支出	22億1,148万円	23億4,014万円	1億2,781万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	201億9,622万円	
特別会計	公共下水道事業	147億8,334万円
	農業集落排水事業	14億2,572万円
計	364億528万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	51億5,161万円
	工業用水道事業	153億5,848万円
	病院事業	2億9,132万円
計	208億141万円	

※平成20年度3月補正後の金額です

※主な借入先は、財務省、地方公営企業等金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

企業会計

連合へ納付する会計です。

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

病院事業特別会計
市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に事業運営や施設整備などを行う会計です

市債現在高

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。